

シルバー やまがた

第127号 平成29年7月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数982名 賛助会員 43個人・70団体(6月末現在)



長瀬理事長あいさつ

—— 内容紹介 ——

P2 平成29年度定時総会あいさつ
感謝状・表彰状受賞者
P3 平成28年度 事業実績報告
P4 平成29年度 課題と事業予算
P5 新役員紹介
P6 地区世話役・互助会役員紹介

P7 安全・適正就業強化月間
就業会員を訪ねて
P8～P9 会員のひろば
P10 地域紹介「わが街自慢」
P11 人あり・技あり・心あり
新入会員紹介
P12 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



平成二十九年定時総会理事長あいさつ

理事長 長 瀬 洋 男

平成二十九年定時総会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

これまで、山形市シルバー人材センターは、公益社団法人として高齢者の就業促進と地域貢献活動に積極的に取り組んでまいりました。

平成二十八年度は会員の皆様と共に、「三年間事故ゼロ」のスローガンのもと、安全・適正就業の徹底を図りながら事業のさらなる進展に向け努力してまいりました。

請負事業及び派遣事業ともに、効果的な新規就業開拓に取り組んだ結果、就業実績も会員数も堅調に推移しているところでございます。これも偏に会員の皆様並びに賛助会員の皆様、そしてご来賓の方々のご理解、ご指導の賜物とまざまま深く感謝申し上げます。

さて、平成二十五年に改正された「高齢者等の雇用の促進等に関する法律」の一部改正により、六十五歳までの高齢者の雇用確保措置が義務付けられました。政府の「働き方改革実現会議」によれば、高齢者の七割近くが六十五歳を超えても働きたいと願っています。実際に働いている人は二割にとどまっております。労働力人口が減少している中で我が国の成長力を確保していくためにも、意欲ある高齢者がエイジレスに働くための多様な就業機会を提供していく必要があると提言しております。

このため、当センターでは、高齢者の雇用促進に関する厚生労働省の委託事業である

「やまがた生涯現役促進地域連携事業」を山形市や関係機関の皆様とともに、平成二十九年からの三年間で取り組んでまいります。

この事業は、高齢者の多様な就業形態に対応するために、ワンストップの就業相談窓口を開設し、また雇用のマッチングを図るための企業や高齢者向けのセミナーや研修会の開催等を行ってまいります。また、高齢者のための産直市や農園の運営、観光ボランティアガイドの養成事業等も併せて実施してまいります。

また、平成二十七年度に策定した「新中期事業計画」に基づき、地域の高齢者自らが主体的に連携し、共に働き、共に助け合うことによる活力ある地域づくりに寄与することにも、市民に信頼され満足されるサービスの提供を通じ、事業の社会性を高め、質的向上と量的拡大を図ることを基本理念として、生涯現役を望む高齢者に就業の場と、社会参加や仲間との集いの場を提供することにより、高齢者の生きがいの充実や健康の維持・増進を図っていくことを目指してまいります。

終わりに、シルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、公益社団法人として高齢者並びに地域社会の期待に答えられるようシルバー事業の推進に取り組んでまいります。所存でありまします。重ねて関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。あいさつといたします。

感謝状受賞者名簿

1 役員表彰（六名）
役員として、二期以上にわたりセンター発展に多大なる貢献をし、退任される方

職名	氏名	職名	氏名
副理事長	鈴木 健一	理事	村田せつ子
理事	鈴木 洋一	理事	佐藤美紀子
理事	小林 誠	監事	佐藤 勝蔵

2 副班長及び組長表彰（十三名）
地区班 正副班長及び組長として、五年以上在任し、退任される方

地区名	氏名	地区名	氏名
第三	武田 弘	千歳	鎌水 藤也
西	新野紀美雄	東沢	矢代 鉄也
第八	鈴木 敏世	滝山二	古林キヨ子
第十	阿部 教祐	南山形・本沢	三部 巳郎
第十二	阿部 丞	南山形・本沢	渡辺 三吉
鈴木二	森 征逸	西部	結城 義弘
鈴木二	武田 忠征		

3 会員表彰（五十名）
会員として、五年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた七十歳を超えた方

地区名	氏名	地区名	氏名
第一	五十嵐エイ子	飯塚・樫沢	小林健次郎
第三	鈴木美智子	飯塚・樫沢	大場 溪子
第三	二瓶 富栄	飯塚・樫沢	星野 清六
第三	山川 豊勝	飯塚・樫沢	高橋紀美夫
第五	廣井 善雄	飯塚・樫沢	鈴木 克夫
第六	舟橋 壽和	東沢	江口 矩雄
第六	稲毛 允武	滝山一	高橋 正義
西	金子アサヨ	滝山二	伊藤 秀吾
西	清野 雄三	滝山二	六戸 昌弘
西	樋口 俊治	滝山二	宇井 悦太郎
第八	佐藤 敏弘	金井	木村悦太郎
第九	国澤 勝雄	金井	高橋 幸次
第九	稲澤 勇	山寺・高瀬	山口富美子
第九	石墨 玲子	山寺・高瀬	野口 哲雄
第十	近藤 建治	蔵王	會田 敏男
第十	長岡 正夫	蔵王	土屋 利光
第十	三澤 正志	蔵王	荒井 重男
鈴木一	武田 光司	蔵王	高梨 良治
鈴木一	菅沼 清一	南山形・本沢	佐藤 敏子
鈴木二	高橋 幸	南山形・本沢	高橋キン子
鈴木二	宮林 義美	南山形・本沢	小笠原拓昭
鈴木三	漆山 優子	南山形・本沢	荒木のり子
鈴木三	藤田 清	南山形・本沢	加藤 哲夫
飯塚・樫沢	金子ミツ子	南沼原	鈴木 重美
飯塚・樫沢	金子ミツ子	南沼原	鈴木 重美

平成28年度 事業実績報告

6年ぶりに会員数が1,000人を突破

全国的に少子高齢化が急速に進む中、山形市の高齢化率も平成36年度末には30.1%にまで達すると見込まれ、高齢化はますます進んでいくものと予想されています。「人生90年時代」が到来することとなり、高齢者へ就業機会を確保し提供してきたシルバー人材センターの機能は、多様なニーズに応えるためにもますます重要になっていくものと思われまます。

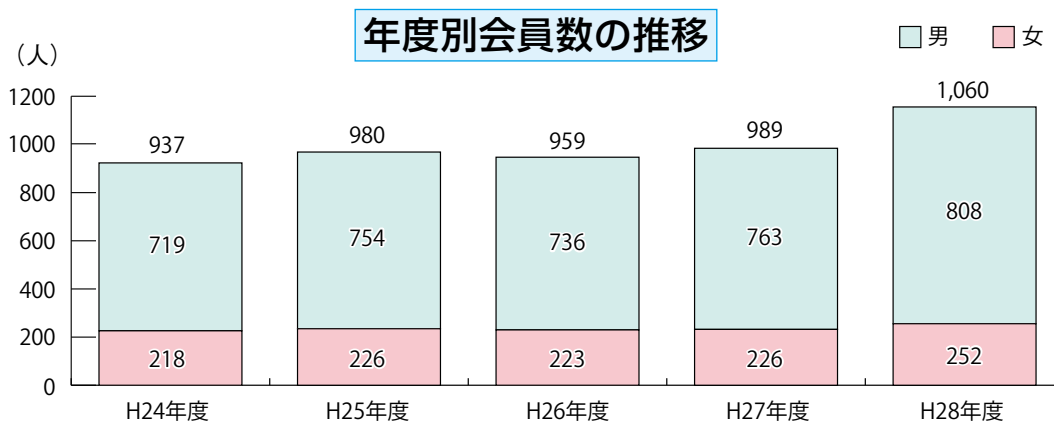
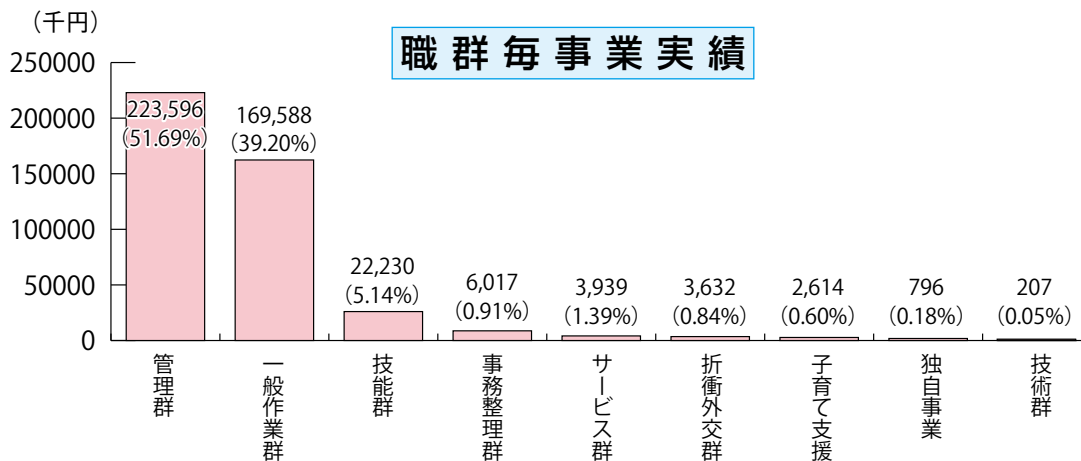
当センターにおいては、平成28年度は平成26年度に策定した「新中期事業計画」5カ年の中間年にあたることから、過去2年間の事業を検証しながら、後期事業の取組みに向けて計画の見直しと目標値の修正等を行いました。

会員の皆さんと役職員が一丸となり新入会員の増加に取り組んだ結果、平成28年度末の正会員数は、71人増の1,060人となりました。契約

金額は、新規就業開拓を積極的に展開したことにより、15,360千円増の432,620千円、就業延人員は1,031人増の135,469人、受託件数は354件増の5,095件と前年度に引き続き増加しました。派遣事業については、受注が順調に推移した結果、契約金額は13,278千円増の50,738千円、就業延人数は4,294人増の11,762人と大幅な増加になりました。(詳しくは平成29年度定時総会議案書をご参照ください。)

平成28年度事業実績

項目	28年度実績	27年度実績	比較
正会員数	1,060人	989人	71人
契約金額	432,620千円	417,260千円	15,360千円
就業延人数	135,469人	134,438人	1,031人
受託件数	5,095件	4,741件	354件
派遣事業契約金額	50,738千円	37,460千円	13,278千円



平成29年度 課題と事業予算

会員増と就業機会の拡大、安全就業を重点課題に

高齢化が進み、労働人口が減少していくことが予想される中、社会を支える立場であり続ける高齢者を増やしていくことは急務となっており、シルバー人材センター事業の役割が地域社会活性化のためにますます重要になっていくと考えられます。こうした中、厚生労働省においては、地域の実情に応じ、派遣・職業紹介に限り週40時間までの就業を可能とする「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部改正が行われました。

平成29年度は、「新中期事業計画」の中間年にあたり、修正を加えた計画に基づき事業を進めてまいります。また、平成28年度に『3年間事故ゼロ』の重点目標を掲げましたが、今年度も引き続き一丸となって安全意識の啓蒙に努めてまいります。

基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進するとともに、関係各位のご支援・ご協力をいただきながら、公益社団法人として、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう次の8つの事項を重点事項に掲げ、事業の推進に取り組んでまいります。

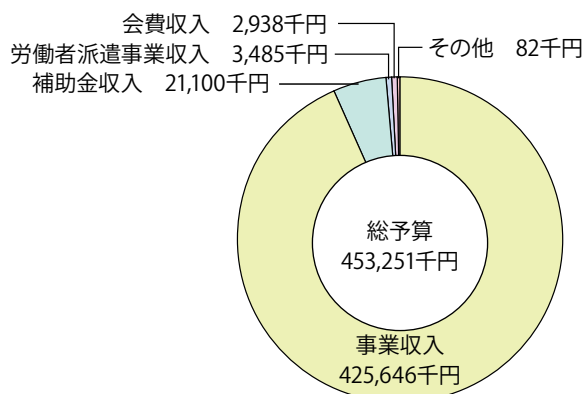
(事業計画や予算等、詳しくは平成28年度定時総会議案書をご参照ください。)

重点課題

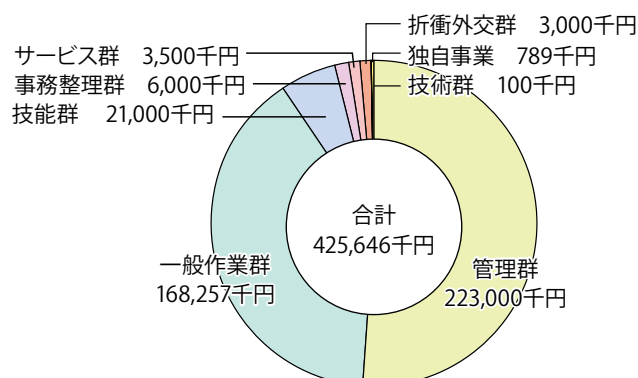
1. 会員拡大と退会会員の歯止め
2. 受注作業の迅速化
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 会員組織の充実と活性化
5. 子育て支援事業への取り組み
6. 安全就業推進体制の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保



平成29年度予算（収入総額）



事業収入内訳



新役員紹介

理事会



理事長(代表理事)
長瀬洋男
(市推薦)



副理事長(代表理事)
樋口健一
(西地区)



常務理事(業務執行理事)
笹原信之
(市推薦)



理事
鞠子克己
(市推薦)



理事
栗原浩一
(市社会福祉協議会推薦)



理事
石澤裕吉
(市都市振興公社推薦)



理事
本木康晴
(滝山一地区)



理事
那須博
(第六地区)



理事
加藤芳男
(鈴川二地区)



理事
高野昭英
(西部地区)



理事
大瀧守
(鈴川一地区)



理事
佐藤明
(第六地区)



理事
塩野美智子
(南山形・本沢地区)



理事
安達つや子
(金井地区)



理事
会田健治
(東沢地区)



監事
相沢英章
(飯塚・樫沢地区)



監事
高橋和子
(第八地区)

専門部会

◎は部会長および委員長
○は副部会長および副委員長

総務部会

- ◎ 本木康晴
- 那須博
- ◎ 石山哲雄
- 鈴木美智子
- ◎ 山口重雄
- 三浦正昭
- ◎ 鞠子克己

事業部会

- ◎ 加藤芳男
- 高野昭英
- ◎ 古頭義雄
- 布施道弘
- ◎ 森谷とし子
- 結城正夫
- ◎ 石澤裕吉

広報部会

- ◎ 大瀧守
- 佐藤明
- ◎ 高橋宏一
- 伊藤光夫
- ◎ 今野久子
- 深瀬江里子
- ◎ 齋藤英夫

女性部会

- ◎ 塩野美智子
- 安達つや子
- ◎ 佐藤久子
- 設楽みつ子
- ◎ 土田トク子
- 高田さと子
- ◎ 小林久子

安全就業推進委員会

- ◎ 樋口健一
- 会田健治
- ◎ 武田忠征
- 平吹誠太郎
- ◎ 金子ミツ子
- 成田正蔵
- ◎ 山崎弘
- 宮林義美
- ◎ 長瀬恵子
- 栗原浩一

地区世話役

千歳	鈴木三	鈴木二	鈴木一	第十	第九	第八	西	第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	地区名															
杉澤 輝男	渡辺 志朗	宮林 義美	大滝 守	上谷 一郎	近野 正弘	浅香 公博	細谷 孝司	渡辺 彰	伊東 義雄	佐藤 武則	明石 務	清水 勇	東海林正良	大和 壽一	班 長															
矢萩 芳美	藤田 清	渡邊 孝	太田 正樹	鈴木 莊一	稲澤 勇	武田 満	吉永 二郎	遠藤 勝廣	村上 清志	廣井 豊雄	長谷川徳治	伊藤 忠	佐藤 輝夫	及川 明	副班 長															
仁藤 政司	庄司 豊	設楽 芳男	岡崎 五郎	折原 昌子	島山 健一	工藤健二郎	狩野 敏男	佐々木良樹	森谷 亮	古郡興二郎	村上 宏治	丸山 正弘	鈴木 暁	茅野 勲	組 長															
東海林静雄	稲村 秀韶	小笠原重義	南沼原	南沼形・本沢	蔵 王	楯 山	高山 瀬寺	大 郷	金 井	明出 治羽	滝山二	滝山一	東 沢	榎 沢塚	地区名															
矢田目喜祥	岸 清司	古内 藤一	芳賀 鉄雄	逢坂 鉄雄	鈴木 正孝	小林 孝	小川 孝	横山 重	石川 廣司	大宮 和彦	南 庄介	樋口 俊樹	結城 正弘	渡邊 孝	永沢 慶次	本木 康晴	岩城 博範	小池 正人	菊地 一郎	川島 富隆	金子 光一	組 長								
渡辺 和夫	渡辺 正明	船山 三男	渡辺 正明	須貝 國男	大滝 忠行	渡邊 幸夫	吉田 正	佐々木 守	塩野 邦雄	塩野 邦雄	今野 久子	工藤 俊二	赤塚 正弘	渡邊 一男	伊藤 卓二	安孫子眞一	高橋 孝信	樋口 猛	長澤 勝紘	宮崎 尚久	石原 一夫	會田 文雄	會田 文雄	漆山 敏男	沼沢 久雄	山口 重雄	江口 誠一	江口 誠一	長南 幸二	副班 長

会員互助会幹事

- 会長 阿部 一雄 (鈴川三地区)
- 副会長 升谷 光悦 (南沼原地区)
- 幹事長兼会計担当 會田 千嘉子 (鈴川三地区)
- 幹事 阿部 健次郎 (金井地区)
- 幹事 山川 良男 (第五地区)
- 幹事 伊東 義雄 (第六地区)
- 幹事 長澤 榮三郎 (南山形・本沢地区)
- 幹事 那須 博 (第六地区)
- 幹事 菅井 和廣 (出羽・明治地区)
- 幹事 丸子 米子 (出羽・明治地区)
- 監事 塩野 邦雄 (南山形・本沢地区)
- 監事 會田 敏男 (蔵王地区)


会員互助会顧問・相談役

- 顧問 長瀬 洋男 (理事長)
- 相談役 笹原 信之 (常務理事兼事務局長)

退任役員紹介

—長い間
ごくろうさまでした—

- 副理事長 鈴木 健一
- 理事 鈴木 洋一
- 理事 小林 誠
- 理事 村田 せつ子
- 理事 佐藤 美紀子
- 監事 佐藤 勝蔵



安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会

二十九年度スローガン

『事故防止 急ぐな あせるな 取り組み事項』

二十八年度から「三年間事故ゼロ」を目指し事故防止活動に取り組んでまいりましたが、残念ですが二十九年度四月に就業中に事故が発生し継続することができませんでした。引き続き事故ゼロに向けて活動していきます。常に「見えない危険」が潜んでいることを会員一人一人が自覚しゆとりをもって「安全第一」を最優先することだと考えます。

今年度も、各地区班及び職群班とも連携協力し、独自の安全推進活動を実施し、事故ゼロの継続を目指し事故防止活動に取り組んでまいりたいと思います。

昨今の全国シルバー人材センターで発生した事故の状況を見ますと、剪定作業時の脚立からの踏み外しによる転落、刈払い機作業の異物飛び跳ねによる器物破損事故、通勤途上の事故件数が相変わらず増加傾向にあり、重篤事故につながった事例も増加傾向にあります。

さて、七月は「全国安全・適正就業強化月間」として一日から三十一日までの間、全シ協・県連合会・各地区SCがそれぞれ連携し強化月間中活動してまいります。

【取り組み事項】

- 一、安全就業推進委員会の開催
- 二、事故ゼロを目指した活動の推進
- 三、定期パトロール・不定期パトロールの実施
- 四、安全保護具の完全着用の徹底（安全帽・安全帯等の装着）
- 五、機械器具・安全保護具の点検整備
- 六、緊急連絡カードの携帯徹底
- 七、安全意識の高揚策の充実
- 八、安全標語の募集と優秀作品の表彰
- 九、安全に対する体験発表会の開催
- 十、「安全就業推進委員会だより」の発行で事故防止の喚起
- 十一、会員の健康管理意識高揚として総合健診の受診を推奨
- 十二、就業途上における交通事故防止
- 十三、交通安全講習会及び交通安全対策の徹底
- 十四、徒歩・自動車・自転車・バイクでの事故防止の徹底

就業会員を訪ねて

高田さと子・室岡節子 瀬尾知栄子（ながまち荘）

特別養護老人ホーム「ながまち荘」は、市の北部、長町に開設されて二十七年になる。広大な施設には、長期入所者八十名、短期入所者二十名、通所介護利用者三十名と、多くの方が利用されている。

当センターでは、施設の清掃・洗濯、宿日直業務を十二名で請け負っているが、今回は清掃・洗濯業務を担当される会員を訪れた。

従事する会員は七名。勤務体制は三人ずつ二班（①午前八時半～午後四時半、②午前十一時～午後七時）編成。今回は高田さん、室岡さん、瀬尾さんに話を伺った。

大型洗濯機、乾燥機がフル回転する部屋での取材。百名を超す利用者さんの洗濯物の数は数えきれない程ということ。衣類の素材にも細心の注意を払い分別して洗濯方法を変える。洗濯・乾燥を終えた衣類は利用者さんへ返却。衣類に記入された名前をチェック



クシ居室のタンスに収納して終了。取材中、三人の目の前には、バスタオル・フェイスタオルが重ねられてあった。

タオルの端に書かれた利用者さんの名前が見やすいようにたたみこまれている。心遣いが見えてくる。十一時になると施設内の床・トイレ清掃と仕事内容が変わる。

主婦にとって掃除・洗濯は日常茶飯事。しかしこのように大きな施設での作業はどんなにか大変なことだろうと心から思った。

その大変さを言葉にもせず笑顔で作業内容を話してくださった三人の屈託のない明るい表情が深く印象に残った。

取材の時間中にも、作業場には大きなビニール袋に入った洗濯物が三つ程持ち込まれていた。きれいになった衣類を手にとられる利用者さんの笑顔が和んだ。（取材・広報部）

植物管理と家庭菜園



滝山一地区
本木 康晴

私は、早いものでシルバー人材センターの会員になって間もなく三年になります。会員になって二か月後に現在の仕事に就業しました。そこは皆様もご存知の山形市野草園です。仕事の内容は植物管理業務です。すなわち植物回りの草刈り、除草、樹木伐採、育苗、施肥、植栽剪定等です。私も初めての仕事だったので大変不安でしたが、いざ行ってみると意外にもスムーズに仕事の中に入れました。

それはと言うと私もシルバー会員になる約一年前に趣味の家庭菜園を行い、予想外の広い畑を借りる事が出来、耕すに耕運機、刈払機を必要とし、購入して可動していたことが野草園での就業に役に立ったのだと思えます。又偶然にも借りている畑

が野草園の隣の地区の土坂地区で就業がある日は帰りに畑に寄ってきます。就業が休みの時は朝から畑にいます。就いた日々に毎日西蔵王に通っています。ゆえに一挙両得でどちらも上手くできています。今は時期的にどちらも忙しく大変な思いをしています。植物管理をすることで花も綺麗に咲きお客様に喜ばれた家庭菜園もうまく出来ることを夢見てこの度のやまがた生涯現役促進地域連携事業のよりあい産直市への出品者として貢献できるようにがんばって毎日の日々を有意義に過ごしたいと思っている今日この頃です。

Shall we ダンス?



第四地区
西村 信治

「社交ダンスはヨーロッパでは、ポールのダンスとよばれ一つの教養であり、子供からお年寄りまで楽しめる、健康的な娯楽でもある」政治経済学者であり、哲学者でもあるアダム・スミスは言っている。

「舞踊と音楽は人間が発明した、もともと初期的な快楽である」で始まる役所広司、竹中直人、渡辺えり出演の映画「Shall we ダンス?」は二十年前前に大ヒットしたが、笑いあり涙ありで面白く、三回見に行った知人もいた。映画を見てダンスを始めた人も大勢いたが、私もその一人だった。庄銀山形ビルで施設管理の仕事をしていますが、週二、三回の公民館での練習との時間配分が良く、両立しているので感謝しています。久しぶりで、十五年くらい前に私

が踊っていた姿をDVDで見た。何か忘れかけていた、大切な「モノ」を見つけたような気がした。今ではダンススポーツ競技会にも出場しては、当時から見れば格段にレベルアップしているはずなのに下手でも無心で夢中に踊っていた当時のほうが、凄く楽しそうに見えた。体力の衰えは仕方ないが、年相応に楽しく、何歳(いくつ)になってもそれなりに楽しく……。

山形住みやすいところ



大郷地区
柴田 實

私は現在六十六歳ですが、十九歳から五十五歳まで三十七年間県外生活をして来ました。両親が老いてきたため戻って来ましたが、早いもので十一年が過ぎたところです。

妻と子供が東京で生活する中で私は、長野県上田市に約三年間、愛知県豊橋市に約四年間、徳島県池田町へ三年間及び新潟県長岡市へ三年間と単身生活をし、残り二十四年間は東京・千葉生活でした。このような生活経験から、山形(県・市)の良いところを三点挙げてみました。

第一は、自然災害が少ないこと。これは、山形県の地形及び山形市の位置にあると考えております。例えば西から北上する台風は、中央・北・南アルプスに進路を阻まれ、山梨・群馬・埼玉・栃木・茨城・福島県から太平洋上へと進路を変えることが多いと考えられます。第二は、果物も種類が多く大変美味しいこと。

頂へ



第四地区
三浦 敬一

長野県も、リンゴ・ブドウが大変美味しいですが、サクランボ・ラフランス・スイカ・メロンはなかったと思います。第三は、そばが日本一美味しいこと。長野県の信州そば・戸隠そばも食べてみましたが、私は山形のそばの方が味が濃く香りがあると思っています。山形のそばに良く似ているのが、福井県の越前そばと考えております。特におろしそばが大変美味しかったです。また、新潟県長岡市で食べた「へぎそば」、徳島県の祖谷そばも珍しかったです。他にも、温泉・米・日本酒等数多くあり、山形をPRしたいと考えております。

初めての頂は、平成二十三年の山形市民登山の富士山登山です。国内最高の頂に立ち、頂からの景観に驚き満足し登頂の達成感に浸ったことです。登山経験は皆無、車生活での四十五年でしたので体力、脚力は不安でしたが、頂での景観、達成感に浸ることを目的に挑戦することにしました。

挑戦は夏山。雨、強風は避け、他人に迷惑をかけない。自分の体力・脚力で、安全・安心登山を条件として頂に立つ。目標の設定に当たり、山形県の山、山と高原地図など参考に自宅から見える東西南北の山並みに頂への挑戦と決めました。東に賈戸山、神室、龍山、西に月山、村山



つながり

多員の健康・趣味



南山形・本沢地区
古内 藤一

野菜づくりを楽しみながら

葉山、朝日、白鷹山、北に甌山、南に三吉山、葉山などの山並みです。脚力の強化は、千歳山、富神山への登山、又職場への通勤は、往復三キロ、仕事で駅前周辺を四キロ、休日には霞城公園などを歩き、体力の維持をしています。挑戦も五シーズンを終え、目標以外の頂や、県外の頂に登り、三十八の頂で景観と達成感に浸ることができたことには満足しております。

私は、山形市の南南西に位置する本沢地区に住んでおり、自宅に隣接している百三十坪程の畑で自家用の野菜などを作りながら過ごしております。以前は母が作っておりまして母が亡くなったからには私と妻の二



西部地区
廣谷司郎左エ門

『言葉は心の使い』

人で畑の管理をするようになり、特に、数年前に勤めていた職場を退職してからは畑で過ごす時間が次第に多くなってきました。畑は僅かな面積ですが、耕耘、施肥、種まき、苗の植え付け、草取り、時折の消毒、トマトやキュウリなどの棚作り、さらに乾燥すれば灌水もしなければなりません。結構多くの仕事があるのです。いまでは、キャベツなどの葉物類、大根などの根菜類、果菜類、その他ブルーベリーなどの果実、行者ニンニクなどの山菜と、少しずつですが七十種類を超す品目を作ります。それぞれの季節に収穫することができず。出来の良い年も良くない年もありますがスーパードで販売しているような形や大きさが均一なものを作るのはなかなか難しいものです。しかし、そこには自分で食べるものを自分で作る楽しさがあります。

今、シルバー人材センターの仕事をしていただくようになって三年目になります。仕事をしていくという意識からか適度な緊張感があり毎日の生活に充実感を感じております。これからは花や風景など、好きなスケッチや野菜作りを楽しみながらシルバー人材センターからの仕事も健康でいられるうちは続けていきたいと思っております。

「アレ」の一言で通用するような、熟年夫婦でもないし、語るなければその思いは伝わりません。ただ人によって、その言葉が単なる冗談のつもりが、相手の心を深く踏みこむような、傷つける事があってはいけない、常に戒めています。特に最近、年々酒が多目に入ったりすると、つい心に思っている本音が、ポロリと出てしまうので、度を越さないよう気をつけています。

今、妍を競う花が次から次へと咲き、その美しい花を見てみると、ふと思ひ起される一つの詩が蘇ってきます。あれは今から四五年前の二〇歳の時、東京下町にあった、古い木造アパートの三帖間の小さな部屋で観ていた、「だいこんの花」という題のホームドラマでした。ドラマが終了すると、こんな詩が流れてくるのです。「行きずりの人であれ微笑むがいい、見知らぬ人であれ話しかけるがいい、誰も淋しいのだから、誰も強く生きたいのだから」強く美しい言葉は、いつでも心に残るものです。言葉はその人の心を表しているものであれば、尚更誤解を生じないよう、正しく丁寧に伝えれば誠意も伝わるはず。これからは心のみならず、言葉を選ばないようにしたいものです。

言葉の使い方、例えば我が家の夕食の時に、空腹で満ちて帰ってきた三人の子供達に、「このモヤシ炒め、とっても美味しいから」と請われれば、幼い頃から、野菜の好き嫌いを無くす為、色々工夫し料理してきた母の愛を感じ、「ウン、とってもおいしいよ」と答えざるを得ない。良かったと喜んでくれる母の顔、明日も美味しい夕食をつくらうと自慢気な母の何げない言葉にも、心の使いである優しさが、こめられているのかもしれない。

「気仙沼さんま祭り」のボランティアを募集します

二〇一一年の東日本大震災から六年が過ぎました。大震災以降、「やまがた気仙沼会（武田満会長）」では、ふるさとの復興支援と大震災を風化させてはならないとの思いを込めて「気仙沼さんま祭り in 山形」を開催してきました。六年目となる今年も、九月二十三日（土・秋分の日）に霞城公園で開催されます。

イベントでは、二〇一一年にちなんで二〇一匹の炭火焼きさんまが無料で提供されるほか、語り部の体験発表、親子さんま焼き教室、三陸の水産加工品の販売などいろいろ催しがあります。被災地へ思いを寄せながら、ひとときを楽しんでみませんか。ぜひご来場ください。

また、このイベント開催への協力依頼がありましたので、ボランティアを募集します。会員のみならずのご協力をお願いします。

○日時
九月二十三日（土・秋分の日）
午前八時から午後二時まで（昼食用意）

○集合場所
霞城公園・最上義光騎馬像前

○ボランティアの内容
受け付け、来場者の誘導、さんま焼きの補助、清掃巡回など

○募集人数
三十人（定員になり次第、締め切ります）

○申し込み
山形市シルバー人材センター
（電話六四七上六六四七）

第二地区

川井 幸雄

第二地区は山形駅より南側で、線路を挟んで東と西にあります。西側には霞城セントラルビルや山形テルサ、ホテル、スーパーなどが立ち並び、ますます発展している街です。東側は古くからの町で、特に十日町、八日町は江戸時代よりの商人町であります。今回は八日町界隈のご紹介をしてみたいと思います。

現八日町は昔の町名で八日町、法華寺（浄光寺）がある通りが法華町、六樫八幡宮のある所が六樫町、八幡宮北参道に番匠町がありました。八日町通りの南側には先ほどの浄光寺の他、蔵龍院、法恩寺、玄明寺、宝光院、六樫八幡宮と寺や神社があり、町中でありながら樹齢数百年という巨木もあり、緑の多い場所となっており、夏でも木陰は涼しく近くの子供たちの遊び場ともなっています。六樫八幡宮は北の宮様（鳥海月山両所宮）、南の八幡様と呼ばれ山形の町を南北に二分する神社で、いわれは平安時代に前九年の役に際し、將軍の源頼義と義家親子が当地に至り、里人より「この地に樫の木六本有り、故に六樫と称し

祀れる八幡大神也」と聞き、「それ陸奥の苦を抜く」と八幡神に戦勝祈願をし、争乱平定後、社殿造営、絹黒金地泥日章旗一旒を奉納したとされる。

六樫八幡宮には氏子の神輿会として氏子青年会があり、夏祭りには屋台を出し、近隣の人たちが多数集まり、楽しんでいきます。特に九月十五日の例祭には近隣の神輿会も一緒に参加して町内を神輿が練り歩き、八幡神のご加護を受けたいと通りに出て神輿に参拝する姿が見られます。町内の人たちは神輿休憩所を設け接待をしてなお一層のご加護を受けております。



六樫八幡宮社殿

地域紹介

わが街自慢



山寺・高瀬地区

赤塚 正弘

高瀬地区ツノノキ葛ノ木集落は、山形市内より北東に位置し、宮城県への二口峠への街道沿いの東面の山の中腹に有る圓通山見滝寺の庭にある池についてですが、今も「ガマ蛙」が産卵に現れる池を有しております。

その池に春から初夏にかけて、宮城と山寺方面から「ガマ蛙」がわたってくるので地元では「ガマ寺」と呼び親しまれている寺でもあります。

その見滝寺の歴史について述べてみたいと思います。

圓通山見滝寺は南村山郡堀田村、現在の半郷松尾山安養寺の末寺であり、昔は中沢口の宇治川民蔵氏うらに経塚と呼ばれる塚が有りそのところにあつたといふ。

又、今の薬師堂のところに尼寺があつたという伝説もある。その後、今の場所に寺を建てて平石山見滝寺と名付けたが、寺について色々争いがあり安養寺大養寺大和尚が中に入りま

るく治めたので圓通山と改めたという話がある。

なお、高瀬地区の名木と言われる庭の「しだれ桜」は山形市教育委員会指定桜で十四世紀の時に植えたと言ひ伝えが有りま

す。集落の人たちが協力し「シダレ桜」のある寺院による夜照明燈をつけ楽しんで、よその地区民の方も来られ楽しんで見学に来られる見滝寺の寺院がある地区であります。



シルバーに

人あり 技あり 心あり

パソコンに親しみ絆を深める



第三地区 伊藤 忠

現役をしりぞいたころ、パソコンは主に職場で、仕事で使うものであったと思います。それが家庭にも普及し、さまざまな機能をもつてくらしと関わっております。そのパソコン技術を学習する会員がいます。パソコンクラブの学習会のあった四月の第二木曜日、西部公民館で会長の伊藤さんに学習内容などを取材しました。



会場では練習用の資料が配られ、パソコンから取り込んだスクリーン映像で学習が始まりました。講師は伊藤さんで、参加者は十八人。この日はワードの横書き、縦書き、図形の挿入、

ワードアートの書式設定などでしたが、説明だけではよくわからず、さっそく質問がでていました。ひと区切りしたところで伊藤さんから話を伺いました。

パソコンクラブは初心者を対象として平成十七年にできましたが、これまでクラブの卒業生は約二百人のこと。伊藤さんはずっと会長として資料づくりなどの世話役を続けてきたそうです。

会員の入会動機は①パソコンをおぼえたい②町内会の資料をつくらなければならなくなった③デジカメ画像の管理と編集をおぼえたいなどそれぞれですが、それぞれの目標・課題、レベルにあわせて学んでいます。習熟度もそれぞれですが、わかる人が教えるという相互学習が基本です。年に数回の懇親会で相互のつながりを深めてもいます。

パソコンをおぼえたい方、スキルアップを目ざす方、パソコンクラブに入会してはいかがでしょう。日々のくらしがもっと楽しくなるのではないのでしょうか。

(取材・広報部)

新入会員紹介

(4月1日～6月30日まで)

第一地区	角田 寿春	出羽・明治地区	門脇 丸子
第二地区	荒井 實	佐藤喜久雄	
第五地区	澤村千代子	横山 健一	
第六地区	大場 正仁	東海林 敏	
西地区	齋野五兵衛	増川よし子	
第八地区	佐藤トクヨ	三浦 君子	
第十地区	中村とし子	神尾千枝子	
鈴川一地区	佐藤 壽子	武田 正造	
第十地区	粕川 令二	荒木多美枝	
鈴川二地区	半田 剛	鈴木 藏	
鈴川三地区	渡辺須磨子	大郷地区	武田 義幸
千歳地区	古川 真	山寺・高瀬地区	斎藤 吉典
飯塚・樫沢地区	小野寺良子	蔵王地区	久松 俊一
東沢地区	菊池 博樹		高橋 俊二
	伊藤 吉蔵		斎藤 政子
	安食 仁		玉木 芳昭
	古川 春子		三沢 昌之
	鈴木 博子		高橋 明光
	竹石 榮子	南山形・本沢地区	阿部 俊一
	神保 辰男		古頭 修一
	若木大三郎	南沼原地区	尾形 博
	白田 幸枝		伊藤 稔
	小出 正文		鬼嶋 博安
	情野 正則		武田 嘉春
	佐藤 芳春		中寫 寛



事務局だより

(脚)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(〇三三)六四七―六六四七

URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagatashi@sjc.ne.jp

年度会費は 傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

- 会員傷害保険料(一人あたり) 二千百九十円
- 総会議案書・会報印刷費等 九百円
- (うち、二百十円を充当)

地域の総合検診は 必ず受けよう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

〇九〇―六二五五―五三〇二
土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようにお願いします。

お知らせと お願い



配分金支払日

- 七月二十日(木)
- 八月十八日(金)
- 九月二十日(水)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 七月十三日(木) 二十日(木)
- 二十七日(木)
- 八月十七日(木) 二十四日(木)
- 三十一日(木)
- 九月七日(木) 十四日(木)
- 二十一日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

- 七月十三日(木)
- 八月十七日(木)
- 九月十四日(木)

事務局紹介

常務理事兼事務局長	笹原 信之
業務課長	平田 悦一
業務係	
係長	武田 千春
主事	原田 弘之
嘱託職員	吉田 和志
嘱託職員	角田 幸恵
総務係	
係長(兼務)	武田 千春
主任	斎藤 康子
嘱託職員	菊地 枝里

訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

- 鈴木 綾子さん(七十六歳) (鈴川二地区)
- 久末 守義さん(七十六歳) (飯塚・榎沢地区)
- 村上 高幸さん(六十七歳) (南山形・本沢地区)
- 仲島 勝利さん(七十一歳) (第二地区)

あとがき

● 今回の会報は、定時総会の記事を中心に増ページして「就業会員を訪ねて」の欄を減らしました。平成二十八年度事業実績報告並びに平成二十九年度課題と事業予算を掲載しました。

● 今年度は、役員改選の年でありました。退任された理事や地区の世話役、互助会の役員の皆様さまにはセンターの発展に長くご尽力いただき誠にありがとうございました。

● 今回選出され活躍していただく新役員を紹介しました。長瀬理事長はじめ、新役員と会員が力を合わせた活動は、当シルバー人材センターの新たな発展に期待できると思います。

● 広報部会も新旧の入れ替わりがありました。親しみある会報作りをめざし活動していきたいと思えます。

● 会員の皆様にお願いです。「会員のひろば」に原稿の依頼があったときは、前向きな気持ちで引き受けてください。

● テルサ隣に(仮)県民文化施設を建設中、花笠パーキングが縮小されます。それによって二時間無料駐車のできる場所が山形駅東口交通センター駐車場に変わりました。少し遠くなりますがご利用ください。

● 高齢者の交通事故件数が多く問題になっています。七十五歳以上の免許更新のときは認知機能検査が強化されました。事故に「あわない・おこさない」運転の基本は十分な車間距離と横断者への気配りが大切だと思います。日頃より安全運転を心がけましょう。